

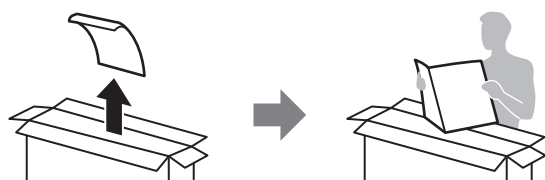


4K液晶テレビ

取扱説明書

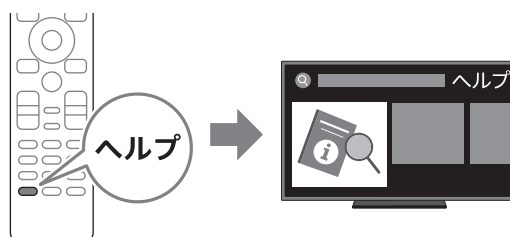
「組み立て／設置ガイド」

テレビのカートン(箱)上部にあります。



「ヘルプガイド(電子取説)」

リモコンのヘルプボタンから、より詳しい本機の使いかた／困ったときの対処方法を表示できます。(4 ページ)



BRAVIA

警告 安全のために

電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

→ 31～36 ページもあわせてお読みください。

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあります。危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

「安全のために」(31～36 ページ)のご注意をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

定期的に点検する

お買い上げ時とそのあと1年に1度は「長年ご使用のテレビの点検を！」(裏表紙)の症状がないかを点検してください。

内部にほこりがたままま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。

また、本機の通風孔付近にほこりが付着する場合がありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーご相談窓口にて修理をご依頼ください。


万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- テレビ内部から異常な音が出たら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーご相談窓口にて修理を依頼する

重要 -本製品の使用を開始される前に必ず、ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

お客様による本製品の使用開始をもって、お客様がソフトウェア使用許諾契約書の内容にご同意いただけたものとさせていただきます。お客様と弊社との間のソフトウェア使用許諾契約書は、弊社ウェブサイト (<https://www.sony.net/tv-software-licenses/>) または本製品画面(クイック設定ボタンを押して、 (設定) - [システム] - [デバイス情報] - [法的情報] - [ソフトウェアに関する重要なお知らせ]) でご覧いただけます。ご同意いただけない場合には、直ちに許諾ソフトウェア・本製品の返品・返金の手続きについて弊社にご連絡ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



風呂・シャワー室での使用禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

目次

ページ番号をクリックすると、該当ページにジャンプすることができます。

テレビを見るための準備 組み立て／設置ガイド	(別紙)
マニュアルについて	4
各部のなまえ	
各部のなまえ(本体ボタン／接続端子／リモコン)	5
テレビを見る／基本の使いかた	
本機でできること	11
テレビやコンテンツを楽しむ	11
BS4K放送や110度CS4K放送を視聴する	13
ホームメニューを使う	15
テレビの設定を変える	15
録画する	
USBハードディスクに録画する	16
他機器をつなぐ	
サウンドバーシステムなどをつなぐ	18
BDレコーダーやゲーム機をHDMIケーブルなどでつなぐ	19
ブラビアリンク機能を使う	20
ネットワークにつなぐ	
ネットワークにつなぐ	22
音声でコンテンツを検索する	23
困ったときは	
故障かな?と思ったら	24
保証書とアフターサービス	29
安全のために／その他	
安全のために	31
使用上のご注意／お手入れ	37
再設置／チャンネル設定をやり直す	39
テレビを壁に取り付けて使う	39
転倒防止用ベルトを取り付ける	40
主な仕様	41
索引	43



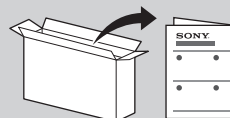
ヘルプガイド(電子取説)では、この取扱説明書より詳しく、使いかたを説明しています(4ページ)。

本書で使われている画面デザイン、メニュー構成、外観等の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

マニュアルについて

組み立て／設置ガイド

- テレビのカートン(箱)の上部にあります。
テレビの組み立てから、設置・接続して、電源を入れるまでを説明しています。



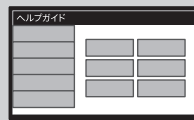
取扱説明書(本書)

- テレビの基本的な使いかたを説明しています。記載内容については、本書の目次をご覧ください。



ヘルプガイド(電子取説)

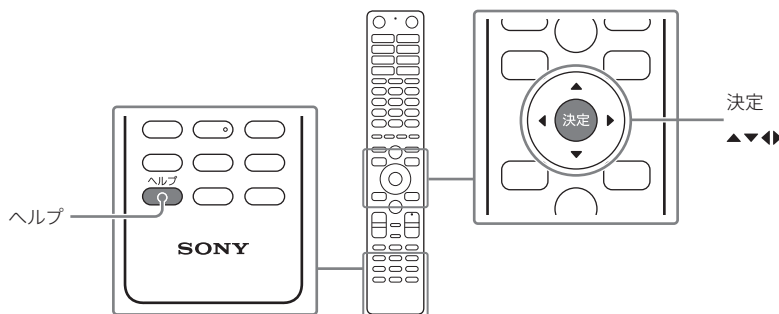
- 本機の使いかたを、より詳しく説明している、画面で見るマニュアルです。
ヘルプガイドはテレビ機能の操作方法、困ったときの対処方法などを本書よりも詳しく説明しています。



ヘルプガイドをテレビで見るとは

リモコンのヘルプボタンを押すとヘルプ画面が表示されます。

▲▼◀▶ (上下左右)ボタンで[ヘルプガイド(電子取説)]を選び、決定ボタンを押します。



ヒント

- 本機をインターネットにつなぐと(22ページ)、最新のヘルプガイドをご覧ください。
Bluetooth®機器のつなぎかたやスマートフォンの画面をテレビに表示する方法など、他機器との接続について詳しくはヘルプガイドをご覧ください。

パソコンやスマートフォン、タブレットで見るとは

ブラウザのアドレス欄にURLを入力するか、二次元コードを読み込んでください。

<https://rd1.sony.net/help/tv/ijp1/ja/>



ヒント

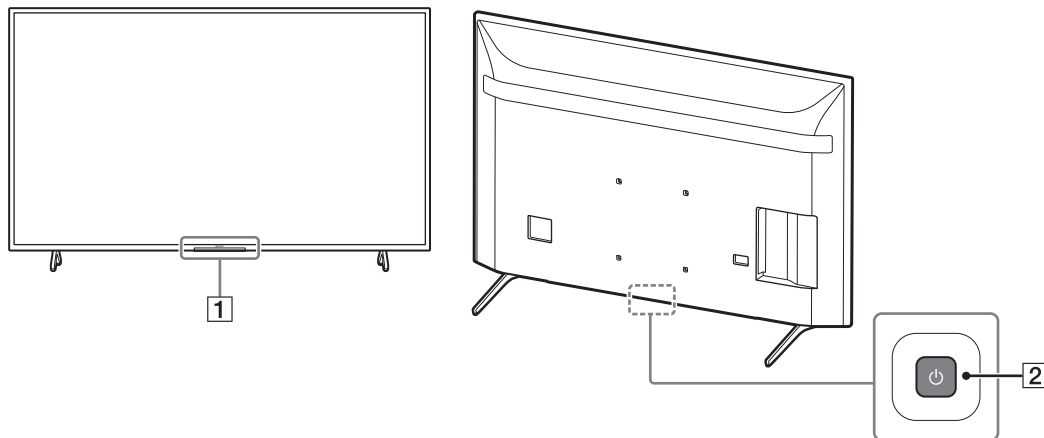
- マニュアル類は、下記のサポートサイトからもご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/tv/>



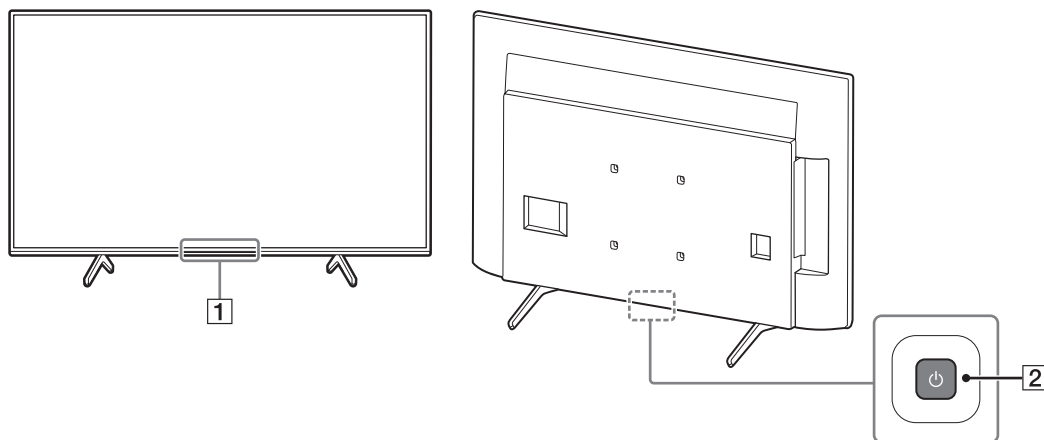
各部のなまえ (本体ボタン / 接続端子 / リモコン)

本体ボタン

■ KJ-65X80J/55X80J



■ KJ-50X80J/43X80J



① LED / リモコン受光部 / 明るさセンサー

リモコンの操作やテレビの状態に応じて点灯または点滅します。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

ご注意

- LEDの付近にリモコン受光部や明るさセンサーがあるため、前に物を置かないでください。

② 本体ボタン

電源を入れるときに押します。電源を切るときは長押しします。

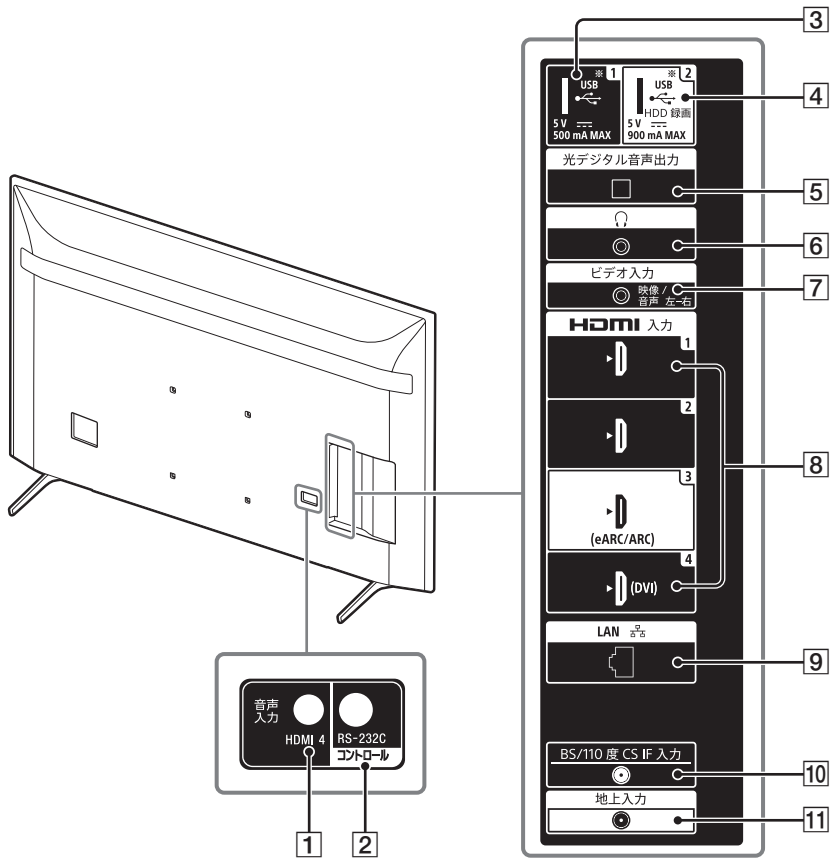
電源が入っているときは、本体ボタンで音量を調節したり、チャンネルを切り換えたりできます。⏻(電源) ボタンを押すたびに調節できる項目が切り換わりますので、画面を見ながら操作してください。

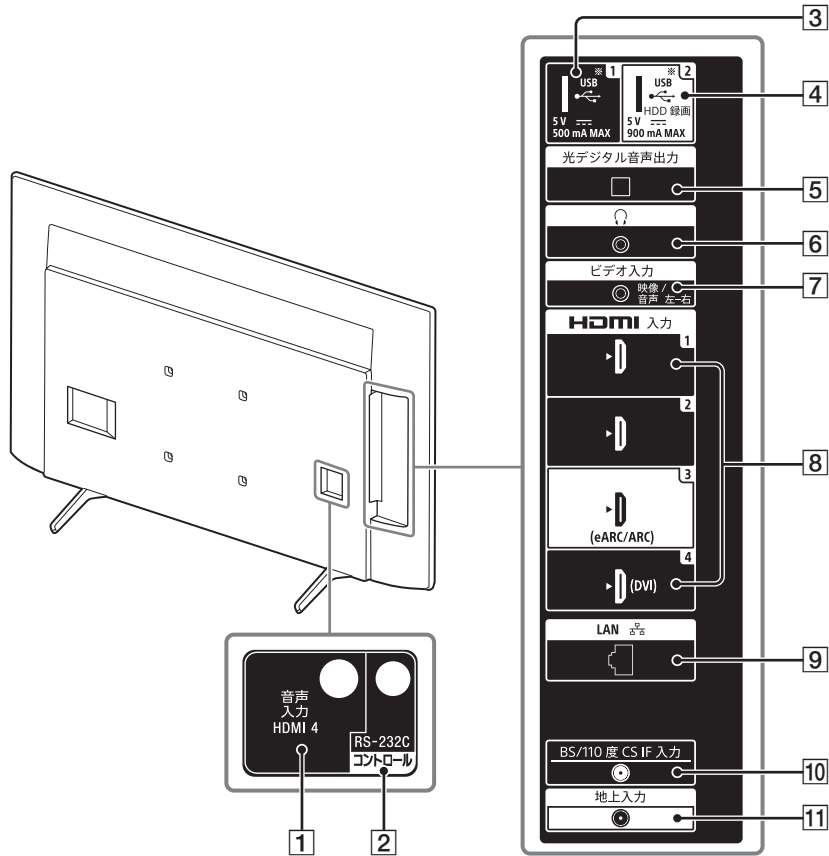
ご注意

- 電源ボタンでは電源を完全に切ることはできません。電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続端子

■ KJ-65X80J/55X80J





1 HDMI 4音声入力端子

HDMI 4入力端子にDVI端子搭載機器をつなぐときは、音声ケーブル(別売)を使って本端子とDVI端子搭載機器のアナログ音声出力端子をつなぎます。

2 コントロール端子

サービス用の端子です。通常は使用しません。

3 USB 1端子

デジタルカメラなどのUSB機器をつないで、写真/音楽/ビデオなどを楽しめます。USBハードディスクをつないでも録画はできません。

4 USB 2 HDD録画端子(青)

デジタルカメラなどのUSB機器をつないで、写真/音楽/ビデオなどを楽しめます。USBハードディスクをつなぐと、デジタル放送の録画もできます。

5 光デジタル音声出力端子

別売の光デジタルケーブルでオーディオシステムやホームシアター機器などの光デジタル音声入力端子につなぎます。

6 (ヘッドホン)端子

ヘッドホンをつなぎます。

ご注意

- ヘッドホンとテレビのスピーカーから同時に音声を出力することはできません。
- (ヘッドホン)端子には3極のステレオミニプラグをつないでください。

7 ビデオ入力端子(映像/音声)

録画機器やDVDプレーヤーなどの再生機器、およびケーブルテレビチューナー(セットトップボックス)などのビデオ出力端子につなぎます。接続ケーブルについては20ページをご覧ください。

8 HDMI 1、2、3、4入力端子

BDレコーダー／プレーヤーなどのHDMI端子につながります。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)は、デジタル映像／音声入出力インターフェース規格です。HDMI端子のあるAV機器と接続できます。サウンドバーシステムなど音声機器をつなぐには18ページを、BDレコーダーやゲーム機など映像機器をつなぐには19ページをご覧ください。

HDMI 3 eARC/ARC (Enhanced Audio Return Channel/Audio Return Channel)

eARC/ARCに対応したオーディオシステムと接続する場合は、HDMI 3入力端子につないでください。eARC/ARCとは、HDMIケーブルを通して、テレビの音声をテレビのHDMI入力端子からオーディオシステムに送る機能です。オーディオシステムがeARC/ARCに対応していない場合は、光デジタル音声出力との接続も必要です。

ご注意

- eARCで接続する場合は、イーサネット対応のHDMIケーブルを使用してください。

9 LAN端子

別売のLANケーブルでルーターにつないで、テレビをネットワークに接続します。

10 BS/110度CS IF入力端子

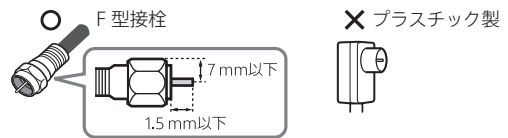
衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15 Vの直流電圧が出ています。VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながりません。

11 地上入力端子

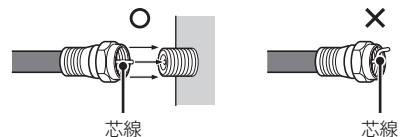
UHF用同軸アンテナ接続ケーブルや、ケーブルテレビからの同軸ケーブルをつなぎます。

アンテナ接続について

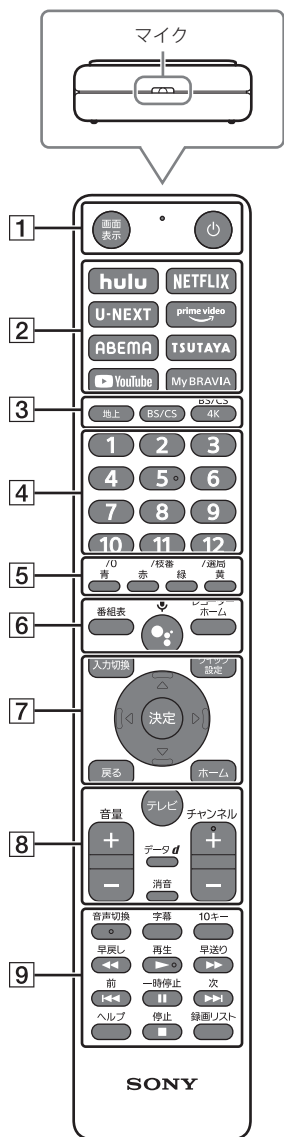
- プラスチック製アダプターは、ノイズが入る可能性があるため、F型接栓をご使用ください。



- アンテナケーブルの芯線が曲がったり折れたりしていないか、またアンテナケーブルがしっかり接続されているか確認してください。



- アンテナや分配器、分波器、ブースターなどがBS/110度CS放送に対応していないと、BS/110度CS放送は受信できません。有料放送を含むすべてのBS4K放送と110度CS4K放送を視聴するためには、4K放送(左旋放送)に対応した衛星アンテナと分配器やブースター、分波器などの受信システム機器(3224 MHz対応)が必要です。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。



1 画面表示

チャンネルや番組情報、時計などの表示／非表示を切り換えるときに押します。

ご注意

- [自動時計表示]を有効に設定すると、常に時計が表示されます。クイック設定ボタンを押して、**設定**（設定）－[システム]から設定を変更してください。

LED

Google アシスタント／マイクボタンを押し、マイクが有効になると点灯します。

電源

2 Hulu、Netflix、U-NEXT、Prime Video、ABEMA、TSUTAYA TV、YouTube™、My BRAVIA

各種サービスに切り換えるときに押します。

3 放送切換ボタン(地上、BS/CS、BS/CS 4K)

放送波を切り換えるときに押します。

4 数字ボタン

チャンネルを切り換えたり、数字を入力するときに押します。

電源スタンバイ時に数字ボタンを押すと、電源が入ると同時に選んだチャンネルを表示できます(チャンネルポン)。

5 カラーボタン(青、赤、緑、黄)

各色のボタンに対応する機能を選ぶときに押します。

6 番組表

放送局が送信する番組情報を表示するときに押します。

ご注意

- 番組表にはBS8K放送の番組が表示されますが、本機では、これらの番組の視聴はできません。

Google アシスタント／マイク

Google アシスタントを使ってやりたいことを話しかけたり、見たいコンテンツを声で検索するときに押します。

レコーダーホーム

HDMIで接続しているBDレコーダーのホームメニューを表示するときに押します。

7 入力切換

テレビの入力一覧やよく使うアプリを表示します。

ご注意

- 機器が接続されていないときは、入力切換にHDMI入力が表示されない場合があります。

クイック設定

テレビの設定を変えるときに押します。

▲▼◀▶ (上下左右)、決定

▲▼◀▶ (上下左右) ボタンで画面上の項目を選び、決定ボタンで選んだ項目を決定します。

戻る

前の画面に戻ります。

ホーム

ホームメニューを表示するときに押します。

8 テレビ

テレビ放送に切り換えるときに押します。電源スタンバイ時にテレビボタンを押すと、電源が入ると同時にテレビ放送を表示できます。

またテレビメニュー (11 ページ) を表示します。

音量+/-

音量を調節するときに押します。

チャンネル+/-

チャンネルを切り換えるときに押します。

データ d

番組と連動しているデータ放送を表示するときに押します。

消音

音を消したいときに押します。もう一度押すと、音声が出ます。

ヒント

- 消音ボタンを長押しすると、読み上げなどのユーザー補助機能のオン/オフを切り換えることができます。

9 音声切換

副音声や第2音声(デジタル放送のみ)に切り換えるときに押します。

字幕

字幕を第一言語→第二言語→切の順に切り換えるときに押します。

ご注意

- 第二言語が運用されていない番組は第一言語と同じ字幕が表示されます。

10キー

数字ボタンでチャンネルを選ぶときに、先に10キーボタンを押すと、チャンネル番号を10キー入力できます。

早戻し/再生/早送り/前/一時停止/次/停止

ブラビアリンク対応の録画機器やUSBハードディスクを操作するときに押します。

ご注意

- USBハードディスクに録画した番組を再生するときは、チャプターがないため前/次ボタンは使えません。早戻し/早送りボタンを使ってください。

ヘルプ

本機の情報や困ったときの対応方法を確認するとき、ヘルプガイド(電子取説)を表示するときに押します。

録画リスト

録画した番組の一覧を表示するときに押します。

ご注意

- 状況や設定により使えるボタンや機能は変わります。
- テレビの機種によりリモコンの形状やボタン配置が異なることがあります。

ヒント

- ▶ (再生) ボタン、音声切換ボタン、数字ボタンの[5]、チャンネル+ボタンには凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

本機でできること

本機ではテレビ放送を見るだけでなく、インターネット動画を楽しんだり、見たいコンテンツを探したりすることができます。

テレビのセットアップ方法によって、以下の使いかたができます。

Google アカウントでログインしてセットアップする

テレビをインターネットにつなぎ、Google アカウントでログインすると、テレビにお好みのアプリをインストールしてインターネット動画を楽しんだり、声で見たいコンテンツを検索したりできます。

Google アカウントでログインせずにセットアップする

Google アカウントがなくてもテレビ放送を見たり、BDレコーダーなどの機器をつなぐことができます。またテレビをインターネットにつなぐと、一部のインターネット動画サービスをご利用いただけます。

ご注意

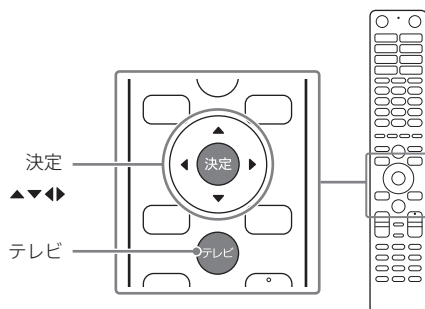
- 本書ではテレビをインターネットにつないで、Google アカウントを使ってログインしたときに使える機能や操作方法を説明しています。

ヒント

- セットアップ完了後に設定を変更することもできます。詳しくは28 ページをご覧ください。

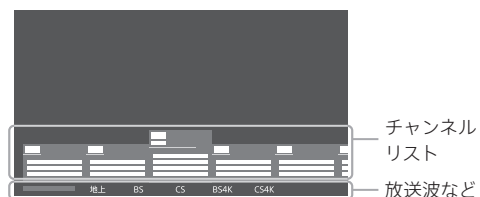
テレビやコンテンツを楽しむ

テレビを見る



1 テレビボタンを押す。

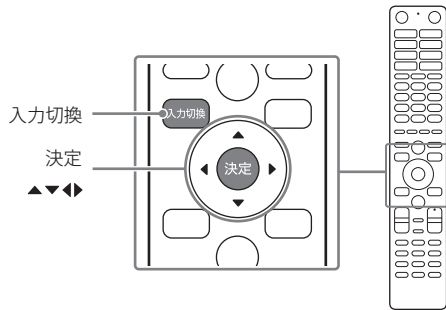
2 テレビメニューとチャンネルリストが表示されるので、▲▼◀▶ (上下左右) ボタンで見たい番組を選び、決定ボタンを押す。



地上、BS/CS、BS/CS 4Kボタンを押すと、放送波が切り換わります。

接続した機器の映像を見る

テレビに接続した機器 (BD/DVDレコーダー、USBメモリーなど)を使う場合は、入力を切り換えてください。



- 1 入力切換ボタンを押し、◀▶ (左右) ボタンで接続機器を選んで、決定ボタンを押す。

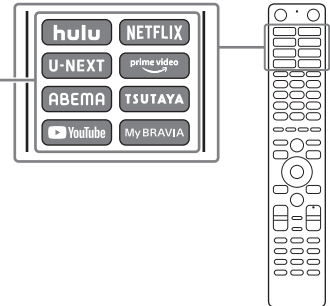
ヒント

- 画面右側の+から入力切換に表示する項目を変更できます。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

ネット動画を楽しむ

テレビをインターネットにつなぐと、YouTube や Netflixなどの動画配信サービスを利用して、インターネット上のコンテンツを見ることができます。

Hulu
Netflix
U-NEXT
Prime Video
ABEMA
TSUTAYA TV
YouTube
My BRAVIA



- 1 テレビをインターネットにつなぐ。
(22 ページ)

- 2 お好みのネット動画サービスのボタンを押す。

その他のアプリを起動するには、ホームボタンを押してホームメニューから起動します (15 ページ)。

動画サービスによってはログインが必要な場合があります。

BS4K放送や110度CS4K放送を視聴する

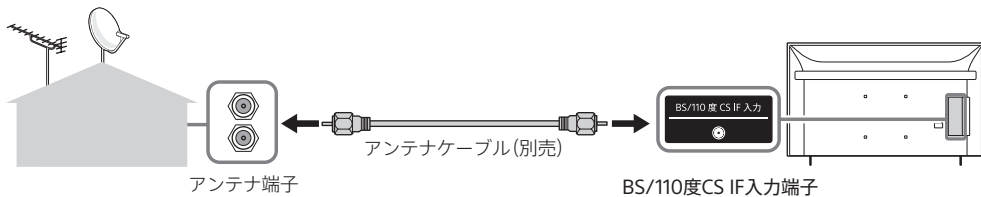
本機は、BS4K放送と110度CS4K放送に対応しています。

有料放送を含むすべてのBS4K放送と110度CS4K放送を視聴するためには、対応する設備や機器が必要です。

アンテナをつなぐ

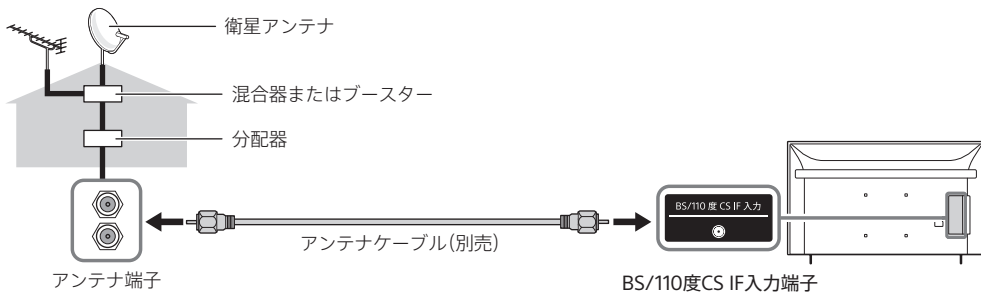
現在ご使用の衛星アンテナ設備で視聴するとき(右旋放送)

現在BS放送のすべてのチャンネルが受信できている場合、従来の衛星アンテナと受信システム機器のままで、NHKと民放キー局系のBS4K放送(右旋放送)を視聴できます。



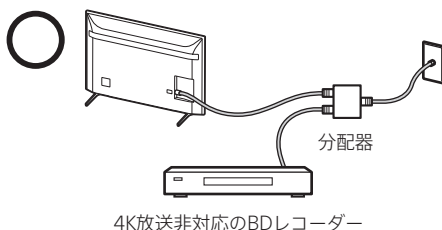
新しい衛星アンテナ設備で視聴するとき(左旋放送)

有料放送を含むすべてのBS4K放送と110度CS4K放送を視聴するためには、4K放送(左旋放送)に対応した衛星アンテナと分配器やブースター、分波器、F型接栓の同軸ケーブルなどの受信システム機器(3224 MHz対応)が必要です。詳しくは、衛星アンテナ販売店またはテレビ販売店にご相談ください。

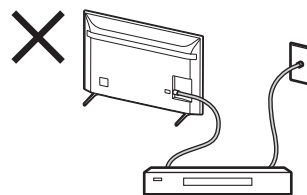


ご注意

- アンテナをつないだ後、アンテナレベルが十分なレベルになっているか確認してください(14 ページ)。
- 壁面のアンテナ端子が1つしかない場合は、市販のアンテナ分波器を使い、信号を衛星放送と地上放送の2つに分けてから各アンテナケーブルを本機に接続してください。
- マンションなどの共同受信システムですべてのBS4K放送と110度CS4K放送(右旋・左旋放送)を視聴するには、改修が必要な場合があります。詳しくは共同受信システムを管理しているマンション管理組合や管理会社にお問い合わせください。
- お使いのBDレコーダーが4K放送非対応で、かつ、本機で左旋放送を視聴する場合は、「壁面のアンテナ端子」-「BDレコーダー」-「本機のBS/110度CS IF入力端子」の順に接続しないでください。
その場合は、下記のように左旋放送対応の分配器を使い、本機とBDレコーダーを並列に接続してください。



4K放送非対応のBDレコーダー



4K放送非対応のBDレコーダー

アンテナレベルを確認する

受信している信号の品質を確認するには、アンテナレベルを確認してください。

- 1 クイック設定ボタンを押して、**設定**—[放送と外部入力]—[放送受信設定]—[アンテナ設定]—[アンテナレベル]を選び、視聴する信号を選択する。

BS4K放送や110度CS4K放送のアンテナレベルを確認するには、[BS4K]または[CS4K]を選びます。

- 2 信号品質が緑色のレベルに達しているか確認する。

■ 地上放送



[BS4K] [CS4K]では、「信号品質」が緑色のレベル(数値が28以上)に達していることを確認してください。

■ BS4K放送



チャンネルごとのアンテナレベルを確認するには

一部のチャンネルが受信できないときは、チャンネルごとの信号の品質を確認してください。

- 1 受信できないチャンネルを選局する。
- 2 リモコンのヘルプボタンを押し、「本機の機種情報/サポート」の[放送受信情報一覧]を選択する。
- 3 信号品質が、緑色のレベルに達しているか確認する。

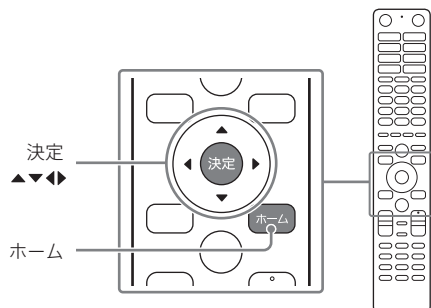
信号品質が不十分だったときは

信号品質が0または不十分(黄色、赤色)である場合は、アンテナの接続環境に問題がある可能性があります。下記の項目を確認し、バーが緑色のレベルになるように調整してください。

- 組み立て/設置ガイド(別紙)や「アンテナをつなぐ」(13ページ)をご覧ください。正しい接続になっているかを確認してください。接続忘れが無いことや、地上入力端子とBS/110度CS IF入力端子が逆になっていないことを確認してください。
- アンテナケーブルの芯線が曲がったり折れたりしていないか、またアンテナケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
- 分配器を使用している場合、分配数が多いと信号レベルが下がります。
- 衛星/地上放送の信号が混合されたアンテナ端子をご使用で、特定の放送の受信状態が悪くなる場合は、分波器を使い信号を分けてから本機へ接続をお試しください。
- マンションなどの共同受信システム以外の場合、クイック設定ボタンを押して、**設定**—[放送と外部入力]—[放送受信設定]—[アンテナ設定]—[衛星アンテナ設定]を[オート]に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は[切]に設定してください。
- 雨や雪が降ると映りが悪くなる場合があります。また、お住まいの地域が晴れていても、送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなる場合があります。この場合、「降雨対応放送に切り換わりました。(エラーコード：E201)」というメッセージが表示されることがあります。天候の回復をお待ちください。

ホームメニューを使う

ホームメニューからコンテンツを検索したり、おすすめコンテンツやアプリを選ぶことができます。



1 ホームボタンを押す。

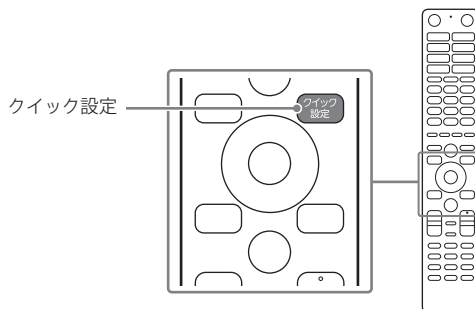
2 ▲▼◀▶ (上下左右) ボタンでお好みの項目を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- お使いの状況により、表示される項目は異なります。

テレビの設定を変える

リモコンのクイック設定ボタンを押すと、画質や音質、スリープタイマーなど、その画面ですぐに使用したい設定を切り換えることができます。



メニューのカスタマイズ

クイック設定に表示される項目は、+ボタンでお好みに合わせて編集することができます。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

USBハードディスクに録画する

テレビに録画用USBハードディスクをつなぐと、デジタル放送を録画できます。

テレビに対応しているUSBハードディスクについて詳しくは、ブラビア サポートページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/tv/>

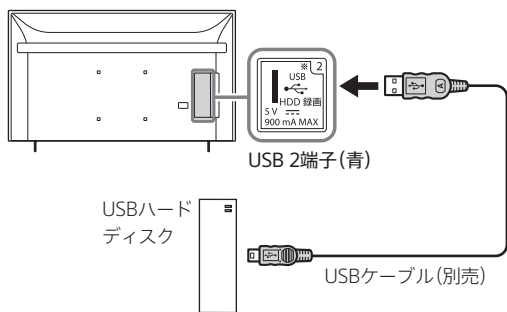
USBハードディスクをつなぐ

1 必要なもの(別売)を準備する。

- 32 GB以上の録画用USBハードディスク
- USBケーブル(1本)

USB3.0準拠のUSBハードディスクを推奨します。

2 USBケーブル(別売)を、テレビのUSB 2 HDD録画端子(青)とUSBハードディスク(別売)のUSB端子につなぐ。



ご注意

- USBハブを使ってつなぐと録画できません。テレビに直接つないでください。

3 USBハードディスクの電源を入れる。

4 [USBドライブが接続されました]という画面に切り換わるまで待つ。

表示までしばらく時間がかかることがあります。

5 [録画用機器として登録]を選び、画面の指示に従って、USBハードディスクを登録する。

登録が完了するまでしばらくお待ちください。

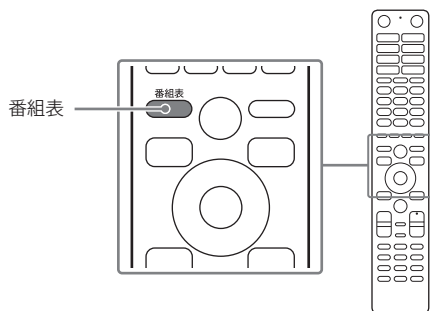
ご注意

- 登録を行うと、USBハードディスク内のすべてのデータが削除されます。
- USBハードディスクは最大8台まで登録できます。
- USBハードディスクが認識されないときや登録できないときは、再度つなぎ直してみてください。

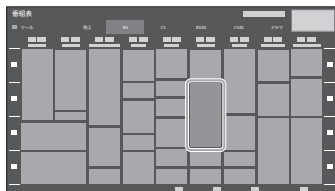
USBハードディスクを登録できないときは

- USBハードディスクがUSB 2端子(青)に接続されているか確認し、接続し直してください。

録画予約する



- 1 番組表ボタンを押す。
- 2 録画したい番組を選び、決定ボタンを押す。



- 3 [録画予約]を選び、画面に従って録画予約を確定する。

録画予約を確認するには、番組表ボタンを押して番組表を表示し、[設定/予約リスト]を選んでから[予約リスト]を選びます。

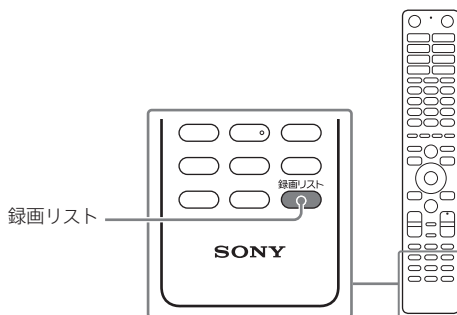
（ヒント）

- [録画機器]から録画先を変更することができます。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

ご注意

- データ放送は録画できません。
- USBハードディスクに録画できる番組の数は3,000件までです。
- 本機を使ってUSBハードディスクに録画した番組は、本機以外のテレビでは再生できません。
- テレビの不具合や受信障害など、何らかの原因で正しく録画できなかったなど、いかなる場合においても記録内容の保障および、それに付随するあらゆる損害において当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

録画した番組を見る／削除する



- 1 録画リストボタンを押す。
- 2 見たい番組を選び、決定ボタンを押す。



選んだ番組が再生されます。

録画した番組を削除するには

録画リストで削除したい番組の右の \blacksquare (削除)を選びます。番組が保護されていて削除できない場合は、 🔒 (保護解除)を選びます。



Bluetooth®機器のつなぎかたや、スマートフォンの画面をテレビに映す方法について詳しくは、オンライン版のヘルプガイドをご覧ください(4ページ)。

サウンドバーシステムなどをつなぐ

つなぐ機器の機能や音声入力端子の種類に応じて、つなぐ方法を選んでください。

1 必要なケーブル(別売)を準備する。

- HDMI出力(ARC)端子がある機器につなぐ場合
 - ソニー製のHigh Speed HDMIケーブル(1本)
- 光デジタル音声入力端子がある機器につなぐ場合
 - 光デジタル接続ケーブル(1本)

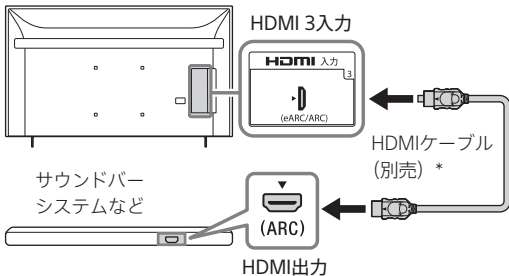
ヒント

- HDMIケーブルでつなぐと、ブラビアリンク機能が使えません。
- ARC (Audio Return Channel) に対応していないサウンドバーシステムにつなぐ場合は、HDMIケーブルと光デジタル接続ケーブルの両方をつないでください。

2 準備したケーブルをテレビとつなぐ機器の端子につなぐ。

- HDMI出力(ARC)端子がある機器につなぐ場合

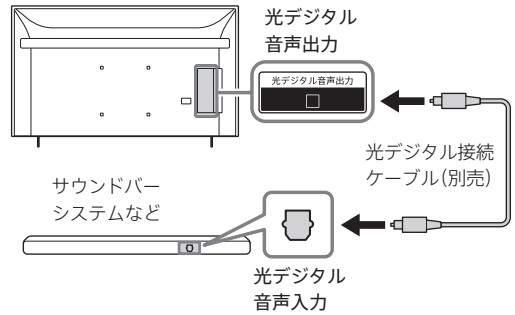
ソニー製のHigh Speed HDMIケーブル(別売)*を、テレビのHDMI 3入力端子とつなぐ機器のHDMI出力端子につなぐ。



- * サウンドバーシステムなどの先にBDレコーダーやゲーム機を接続し、より高精細なHDMIフォーマットで映像を見る場合は、ソニー製のプレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)を使用してください。
また、画面に表示される説明に従って[HDMI信号フォーマット]を設定してください(19ページ)。
- * eARCで接続する場合は、イーサネット対応のHDMIケーブルを使用してください。

■ 光デジタル音声入力端子がある機器につなぐ場合

光デジタル接続ケーブル(別売)を、テレビの光デジタル音声出力端子とつなぐ機器の光デジタル音声入力端子につなぐ。



BDレコーダーやゲーム機をHDMIケーブルなどでつなぐ

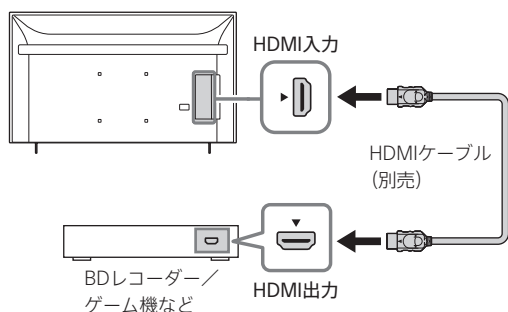
つなぐ機器にある映像出力端子の種類に応じて、つなぐ方法を選んでください。
BDレコーダーやゲーム機以外の機器でも、テレビに映像を表示する機器をつなぐ方法は同じです。

1 必要なケーブル(別売)を準備する。

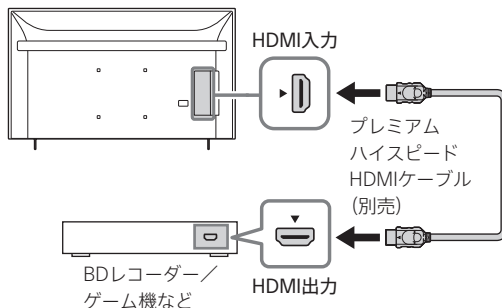
- HDMI出力端子がある機器につなぐ場合
 - ソニー製のHigh Speed HDMIケーブル(1本)
- HDMI出力端子がある機器をつなぎ、4K 60p HDRなどの高精細なコンテンツを見る場合
 - ソニー製のプレミアムハイスピードHDMIケーブル(1本)
- ビデオ出力端子がある機器につなぐ場合
 - 映像・音声ケーブル(片方が4極のミニプラグのもの：20ページ)(1本)

2 準備したケーブルをテレビとつなぐ機器の端子につなぐ。

- HDMI出力端子がある機器につなぐ場合
ソニー製のHigh Speed HDMIケーブル(別売)を、テレビのHDMI入力端子とつなぐ機器のHDMI出力端子につなぐ。



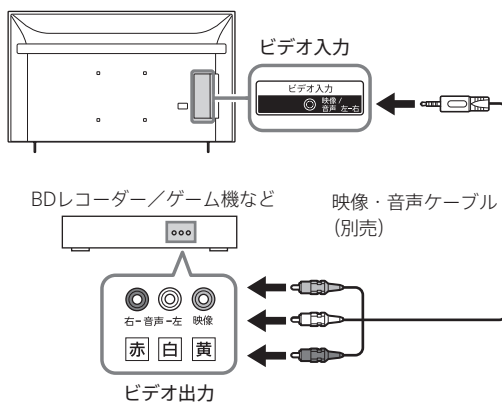
- HDMI出力端子がある機器をつなぎ、4K 60p HDRなどの高精細なコンテンツを見る場合
ソニー製のプレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)を、テレビのHDMI入力端子とつなぐ機器のHDMI出力端子につなぐ。



ヒント

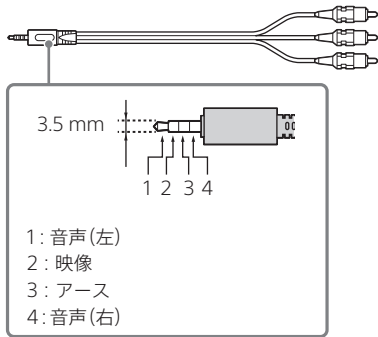
- 4K 60p 4:4:4、4:2:2、または4K 60p 4:2:0 10ビットなど、より高精細なHDMIフォーマットで映像を表示するには、テレビの設定変更が必要です。画面に表示される説明に従って[HDMI信号フォーマット]を設定してください。設定について詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

- ビデオ出力端子がある機器につなぐ場合
映像・音声ケーブル(別売)を、テレビのビデオ入力端子とつなぐ機器のビデオ出力端子につなぐ。



ビデオ入力端子につなぐケーブルについて

片方が4極ミニプラグの映像・音声ケーブル(別売)を使用してください。

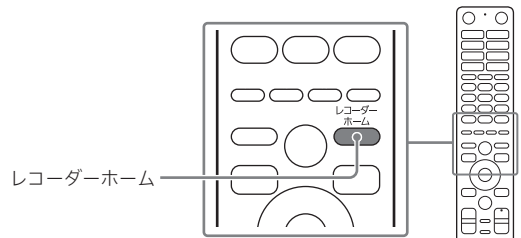


ブラビアリンク機能を使う

テレビとHDMIケーブルでつないだブラビアリンク対応機器をテレビのリモコンで操作できます。

BDレコーダーを操作する

レコーダーホームボタンを押すと、HDMIケーブルで接続したBDレコーダーが起動し、BDレコーダーのホームメニューが表示されます。

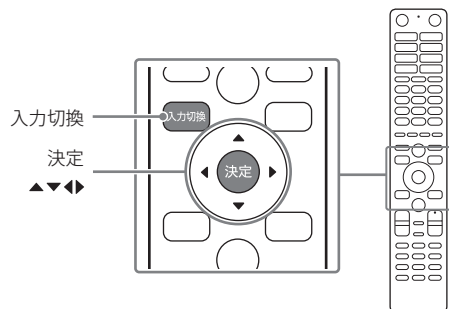


1 レコーダーホームボタンを押す。
BDレコーダーが起動します。

2 テレビのリモコンでBDレコーダーを操作する。

その他のブラビアリンク対応機器を操作する

サウンドバーなど、BDレコーダー以外の機器は、入力切替ボタンから操作します。



1 入力切換ボタンを押す。

2 操作したい機器を選んで▲ボタンを押し、[操作メニュー]を選ぶ。



機器を操作するための画面が表示されます。

3 [ホーム(メニュー)]を選び、決定ボタンを押す。

4 テレビのリモコンでブラビアリンク対応機器のメニューを操作する。

HDMIケーブルで接続した機器が操作できないときは

お使いのブラビアリンク対応機器によっては、あらかじめ[ブラビアリンク設定]から、ブラビアリンク機能を有効に設定する必要があります。

また、電源の連動や優先で操作する機器など、詳細な設定も[ブラビアリンク設定]から行うことができます。詳しくはオンライン版のヘルプガイドの「他機器をつなぐ」をご覧ください。

ネットワークにつなぐ

テレビをインターネットに接続するためには、あらかじめインターネットを使用できる環境が必要です。インターネット接続環境について詳しくは、ご利用の回線事業者やプロバイダーにお問い合わせください。

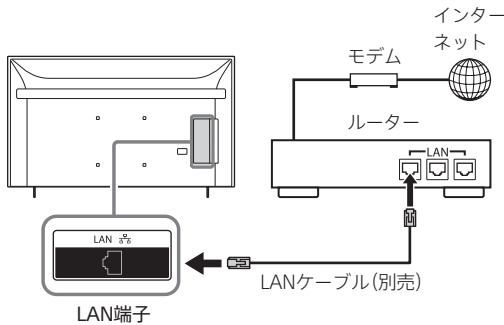
インターネットに接続する方法として、有線接続と無線接続があります。

有線接続する

1 必要なもの(別売)を準備する。

- ルーター (1台)
- カテゴリー 5 (CAT5)以上のLANケーブル(1本)

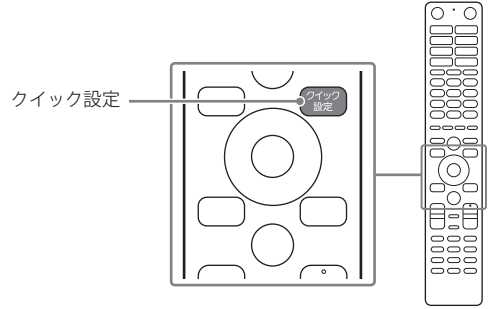
2 LANケーブル(別売)を、テレビのLAN端子とルーターのLAN端子につなぐ。



ご注意

- 本機をインターネットに接続してご使用の際は、ルーターを介した接続、またはルーター機能を有したLANポートへの接続をしてください。

無線接続する (Wi-Fi)



1 必要なもの(別売)を準備する。

- 無線LANルーター (1台)

ヒント

- 無線LANルーターのSSIDとセキュリティーキーを控えておいてください。
- セキュリティーキーの名称はメーカーによって異なります(「暗号化キー」、「暗号キー」、「KEY」、「ネットワークキー」、「パスワード」など)。



2 クイック設定ボタンを押して、**設定** - [ネットワークとインターネット] を選ぶ。

3 接続したいネットワークを選んでセキュリティーキーを入力する。

ヒント

- 無線LANルーターの設定を変更できる場合は、802.11nまたは802.11acに設定してください。インターネットで動画をスムーズに再生できます。設定のしかたは、無線LANルーターの取扱説明書をご覧くださいか、ネットワークを設定した人(ネットワーク管理者)にお問い合わせください。

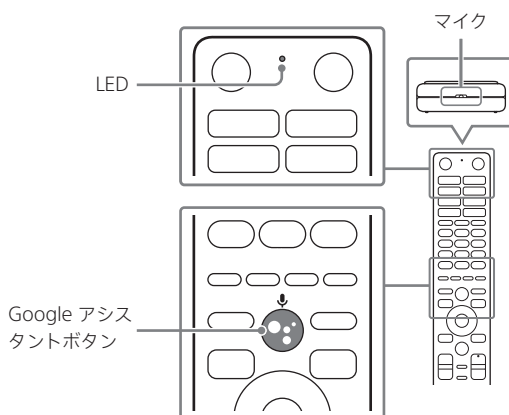
ネットワークに接続できないときや設定を変更したいときは

「問題と対処」の「インターネット」(28 ページ)または、オンライン版のヘルプガイドの「ネットワークに接続する」、「困ったときは」をご覧ください。

音声でコンテンツを検索する

リモコンのマイクを使う

リモコンのマイクで見たいコンテンツを検索したり、テレビを操作したりすることができます。



- 1 テレビをインターネットにつなぐ。
音声でコンテンツを検索するには、インターネット接続が必要です(22 ページ)。
- 2 Google アシスタントボタンを押しながら、リモコン上部のマイクに向かって検索キーワードを声で入力する。



ヒント

- マイクに向かって「ヒント」と話しかけると、音声でテレビを操作するためのヒントを見ることができます。

故障かな？と思ったら

テレビをご使用中にトラブルが発生したり、調べたいことがある場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてみてください。メッセージなどが表示される場合は、書き留めておくことをおすすめします。

1 テレビ本体をリセット(再起動)する

① リモコンの電源ボタンを、電源が切れるまで押し続ける(5秒間以上)。

② 自動で電源が入るまで1分程度待つ。

それでも解決しないときは、テレビの電源プラグを抜き、テレビの電源ボタンを1回押してください。

その後、2分間待ってからテレビの電源を入れてください。

または、テレビの電源ボタンを電源が切れるまで押し続けてください(40秒以上)。

2 ソフトウェアの更新をする(インターネットにつないでいる場合)

リモコンのヘルプボタンを押して、[システムソフトウェアの更新]—[ソフトウェアの更新]—[本機のソフトウェアを更新]を選び、ソフトウェアを更新します。

3 本書やヘルプで調べる

本書の「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べます。見つからないときは、ヘルプボタンを押して、[困ったときは]を選び、該当する項目を調べます。

4 テレビの診断機能で調べる

ヘルプボタンを押して、[問題を解決する]または[問題の原因分析]で該当する項目を調べます。

5 サポートページで調べる

ブラビア サポートページ

<https://www.sony.jp/support/tv/>

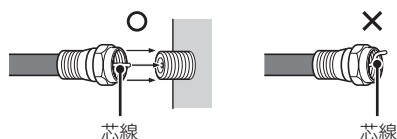
最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を調べます。

6 それでも解決しないときは(裏表紙)

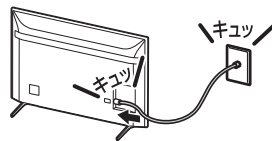
使い方相談窓口、修理相談窓口へご相談ください。

まず確認してください

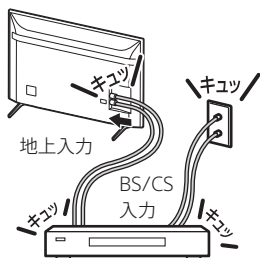
アンテナケーブルの芯線が曲がったり折れたりしていないか、またアンテナケーブルがしっかり接続されているか確認してください。



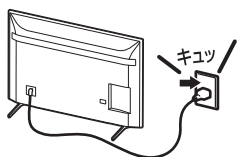
アンテナケーブルがゆるんでいませんか？
しっかりつないでください。



機器間のケーブルはゆるんでいませんか？



電源コードがゆるんでいませんか？
しっかりつないでください。



ソフトウェアの更新画面が表示されたら



最新のソフトウェアが見つかったことを伝えるメッセージです。[更新]を選ぶとソフトウェアのダウンロードが自動で始まります(ダウンロード中もテレビを使用することができます)。ダウンロード完了後、次回に電源を入れたときに更新が適用されます。メッセージが消えたあとに、もう一度このメッセージを見るには、クイック設定ボタンを押し、[ブラビアからのお知らせ]を選びます(15 ページ)。ソフトウェアの更新内容についてはブラビア サポートページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/tv/>



こんな場合は故障ではありません

画面に光る点、または光らない点がある。
液晶テレビの映像は、微細な画素の集合です。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。

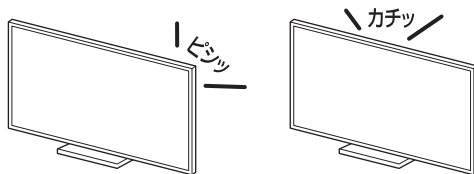


輝点・滅点

「ピシッ」というきしみ音が出る。
電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出る場合があります。

電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。

電源を入れたときは、内部の回路が働くため音がします。また、電源スタンバイ時は、データ受信のためにテレビの電源が自動的に入り、音がすることがあります。テレビ前面のLEDが点滅しますが故障ではありません。



電源が入らなくなった／画面や音が出なくなった／リモコンや機能が使えなくなった。

何らかの原因により、テレビが一時的に誤動作を起こしている可能性があります。リモコンの電源ボタンを5秒以上長く押し、電源を入れ直してください。それでも解決しないときは、テレビの電源プラグを抜き本体の電源ボタンを1回押してください。その後、2分間待つてから電源プラグを再度つなぎ、本体の電源ボタンで電源を入れてください。または、テレビの電源ボタンを電源が切れるまで押し続けてください(40秒以上)。

- システムの初期化に時間がかかるため、しばらくの間本体ボタン、リモコンで電源操作ができないことがあります。その場合1分程度待つてから操作してください。

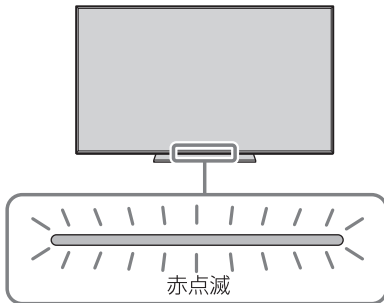
困ったときは

問題と対処

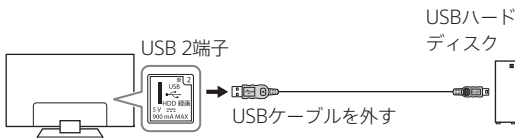
画面／画像／LED（画面下のランプ）

画面や音が出ない／リモコンや機能が使えない／LED（画面下のランプ）が赤色に点滅する。

- 画面が消え、テレビ前面のLEDが赤色に点滅するときは、テレビの自己診断機能により、テレビに何らかの異常が起きていることが見つかった可能性があります。テレビの電源プラグを抜き、LEDの点滅が止まるまでお待ちください。その後、電源プラグを再度つなぎ、本体の電源ボタンで電源を入れてください。LEDの点滅が続く場合は、点滅回数をご確認のうえ、ソニーご相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。点滅はおおよそ3秒おきに繰り返します。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅... この場合の点滅回数は2回です。



- USBハードディスクが原因の場合があります。USBハードディスクが動作していないことを確認したあと、USBケーブルを一度テレビから外して見て、症状が発生するかご確認ください。ケーブルを外すと症状が発生しない場合は、USBハードディスクのメーカーにお問い合わせください。



画面が暗い。

- 画面の明るさは、画質設定によって異なります。画面を明るい設定にするには、クイック設定ボタンを押し、[画質モード]を[ダイナミック]に設定してください。

画像が乱れる。

- アンテナケーブルを電源コードからできるだけ離してください。
- 左旋放送を視聴するには、BS4K/110度CS4Kの左旋放送に対応した衛星アンテナや伝送機器（ブースター、分配器、分波器、配線用の同軸ケーブルなど）が必要です。
- テレビの近くで携帯電話などの電波を発する機器や電子レンジ、掃除機などを使用すると、映像や音声が一時的に乱れることがあります。特に左旋放送を視聴するときは、これらの機器とテレビを離してください（3m以上推奨）。また、左旋放送を視聴する場合、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生して映像や音声が乱れることがあります。この場合、次の対策を行ってください。
 - テレビを有線LANでネットワークに接続する。
 - 無線LANで接続する場合、無線LANルーターの周波数帯を5GHzにする。
- 問題が解決しない場合は、アンテナレベルを確認してください（14 ページ）。

表示されない設定項目がある。

- 受信している放送や設定／調整状況によっては、表示されない項目や設定できない項目があります。また、クイック設定の表示項目は、「+」から変更することができます。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

LED（画面下のランプ）が常に点灯している。

- オレンジ色のLEDの常時点灯は本体マイクが使える状態であることを示すもので、異常ではありません。その他の本体のLEDの光りかたや消灯の方法については、オンライン版ヘルプガイドをご覧ください。

メッセージ表示

「テレビの更新ソフトウェアがあります」と表示される。

- 本機を最新の状態に保つために、デジタル放送またはネットワークから最新情報をダウンロードして、ソフトウェアを更新する必要があります。詳しくは25 ページをご覧ください。

ブロックノイズやE201/E202のエラー表示が出て見られない。

- アンテナケーブルの差し込み口を間違えていないか（テレビ側／接続機器／壁側）、ケーブルが古かったり、コネクタ内部でショートしたりしていないか確認してください。

音声

画像は出るが、音が出ない。

- リモコンの消音ボタンまたは音量+ボタンを押してください。
- クイック設定ボタンを押し、[スピーカー出力]を[テレビスピーカー]に設定してください。

オーディオシステムから音がでない。

- オーディオシステムがeARC/ARCに対応している場合はテレビのHDMI 3入力端子に接続されているか、非対応の場合はHDMIケーブル以外に光デジタルケーブルが接続されているか確認してください。
- クイック設定ボタンを押し、[スピーカー出力]が[オーディオシステム]に設定されているか確認してください。
- その他、詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

放送受信

テレビを視聴中、突然画面が見覚えのない動画になってしまう。

- デモモードが有効になっています。
[デモモード]と[店頭リセットモード]を無効に設定してください。詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

地上放送が受信できない。

- 地上放送の入力を選んでいない可能性があります。
リモコンの地上ボタンを押してください。
- アンテナの設置やブースターの設定が正しいか確認してください。アンテナの設置やブースターの設定について詳しくは、アンテナやブースターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 引っ越ししたり、新しく開始された放送を受信したいときは、39ページをご覧くださいのうえ、チャンネル設定をやり直してください。
- 問題が解決しない場合は、アンテナレベルを確認してください(14ページ)。

BS/110度CS放送が受信できない。

- 衛星アンテナの設置が正しいかご確認ください。衛星アンテナの設置について詳しくは、衛星アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 見たい放送/接続している機器の入力を選んでいないか確認してください。

- ケーブルテレビ(CATV)でBS/110度CS放送を受信している場合、ケーブルテレビ放送会社の再送信方式によっては本機で受信できない場合があります(本機が対応しているのはパススルー方式のみです)。詳しくはケーブルテレビ放送会社にご確認ください。
- 問題が解決しない場合は、アンテナレベルを確認してください(14ページ)。

BS4K/110度CS4Kが受信できない。

- BS放送が受信できるか確認してください。
- BS放送が映らない場合は、アンテナケーブルが正しく接続されているか確認してください。詳しくは「BS/110度CS放送が受信できない」をご覧ください。
- BS放送が映る場合、受信できていないチャンネルを視聴するには、BS4K/110度CS4Kの左旋放送に対応した衛星アンテナや伝送機器(ブースター、分配器、分波器、配線用の同軸ケーブルなど)が必要です。
- 問題が解決しない場合は、アンテナレベルを確認してください(14ページ)。

接続機器

つないだ機器の画像が表示されない。

- つないだ機器の電源が入っているか確認してください。
- 接続ケーブルの端子部分がしっかりと接続端子に差し込まれているか確認してください。
- リモコンの入力切換ボタンを押して、つないだ機器の入力を選んでいるか確認してください。

ブラビアリンクが効かなくなった。

- 以下の順序でブラビアリンクの設定をし直してください。
 - 1 テレビの電源プラグを抜き、本体の電源ボタンを1回押す。2分間待ってから電源プラグを再度つなぎ、本体の電源ボタンで電源を入れる。
 - 2 HDMIケーブルを接続し直す。
 - 3 ブラビアリンクの設定をし直す。
詳しくはオンライン版のヘルプガイドをご覧ください。

リモコン

リモコンでテレビを操作できない。

- 電池切れの可能性があります。リモコンの電池を交換してください。電池の＋／－を正しい向きに合わせて、一極側から電池を入れてください。
- テレビ以外の接続機器が操作されてしまう場合は、ブラビアリンク対応機器の操作をする設定になっている可能性があります。ホームボタンを押し、テレビを操作してください。
- リモコンの代わりにテレビ底面のボタンで操作してください(5 ページ)。

音声で検索できない。

- リモコンの電池を交換してください。

録画

「故障かな?と思ったら」(24 ページ)を参考にテレビの再起動、またはソフトウェアの更新を試してください。

USBハードディスクが使用できない／登録できない。

- USBハードディスクがテレビに対応しているかご確認ください。テレビに対応しているUSBハードディスクについて詳しくは、ブラビア サポートページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/tv/>
- USBハードディスクのUSBケーブルを一度テレビから抜き、「HDD録画」と書かれたテレビのUSB 2端子(青)に再度つなぎ直してください。

録画できない、録画されていなかった。

- リモコンの録画リストボタンを押して、[予約リスト／予約設定]を選び、[録画エラーリスト]を選んで原因を確認してください。

録画した番組が消えた。

- 録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜くと、録画中の番組は保存されません。プラグやケーブルを抜くと、USBハードディスクに保存されているすべての番組が削除されることがあります。
- 録画リストの左側にある[すべて]を選んでください。

電源を入れていないのに、USBハードディスクが動作する。


- 本機は電源スタンバイ中に番組表などのデータ取得を行うことがあります。その際、接続されているUSBハードディスクが一時的に動作したり、ランプが点灯したりすることがあります。

インターネット

インターネットに接続できない。

- LANケーブルやネットワーク機器の電源コードが外れていないか確認してください。
- 本機と無線LANルーターの設置場所を確認してください。電波状況の影響を受けている可能性があります。
 - 他の無線機器や電子レンジ、蛍光灯から離してください。
 - 無線LANルーターと本機の間には床や壁がない状態にしてください。
 - ルーターが正しく設定されているか確認してください。詳しくはルーターの取扱説明書やホームページをご覧ください。接続するための情報(アカウント名やパスワードなど)が不明な場合は、プロバイダーにお問い合わせください。
 - 前述の対処を行っても正常に動作しない場合は有線LAN接続をおすすめします。
- リモコンのヘルプボタンを押し、[ネットワーク接続診断]を選び、無線の電波強度など、ネットワークの接続状態を確認してください。

Google アカウントを使ってログインしたい／設定をやり直したい

- アプリのインストールや音声検索をできるようにするには、Google アカウントを使ってログインする必要があります。テレビのホーム画面からGoogle アカウントでログインするための設定を行ってください。すでに設定が完了している場合は、この操作は不要です。
Google でログインしない状態に切り換えるなど、設定をやり直したい場合はテレビのリセットが必要です。クイック設定ボタンを押して、 (設定) – [システム] – [デバイス情報] – [リセット] – [出荷状態に戻す] – [すべて消去]を選んでください。

その他

本機の周辺が熱い。

- 長時間使用したときなどに、本機の正面や背面、上部、底部が熱くなり、手で触れると熱く感じることがありますが異常ではありません。

ACAS番号について

ACAS番号とは、受信機ごとに割り振られた20桁の番号です。NHKの受信機設置メッセージの消去や有料放送を視聴する際に必要です。ACAS番号を確認するには、リモコンのヘルプボタンを押し、[放送受信情報一覧]を選んでください。[CAS情報]のモジュールIDに表示された番号がACAS番号になります。

ACAS番号をご確認のうえ、記入してください。

ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビ放送会社にご相談ください。
ケーブルテレビ放送会社の連絡先がわからないときは、下記までお問い合わせください。
(社)日本ケーブルテレビ連盟 電話：03-6228-6639
提供地域(エリア)については、下記ホームページでご確認ください。
<https://www.catv-jcta.jp/>

放送局お問い合わせ先

- NHK
受信機設置のご連絡とメッセージ消去
電話：0120-933-933
<https://nhk.jp/cas>
- WOWOW
電話：0120-580-807
<https://www.wowow.co.jp/>
- スター・チャンネルカスタマーセンター
電話：0570-013-111または044-540-0809
<https://www.star-ch.jp/>
- スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）
電話番号：0120-211-855
受付時間：10:00～20:00<年中無休>
<https://www.skyperfectv.co.jp/>
- (社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)
新4K8K衛星放送コールセンター
電話：0570-048-001
<https://www.apab.or.jp/>

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーご相談窓口へ

- 裏表紙にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。
- BS、110度CS並びにBS4K/110度CS4Kの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社にお問い合わせください。
- デジタル放送全般については(社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)のホームページをご覧ください。
<https://www.apab.or.jp/>

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは、保証書をご覧ください。

何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器("メモリースティック"、デジタルレコーディングハードディスクドライブなど)に記録できなかった場合や、外部メディア・外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

困ったときは

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名： KJ-65X80J
KJ-55X80J
KJ-50X80J
KJ-43X80J

故障の状態：できるだけ詳しく

購入年月日：

本機の型名、シリアルナンバーおよび定格は、本機背面に記載されています。

お買い上げ店

TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

安全のために



下記の注意を守らないと
火災・感電・破裂な
どにより**死亡や大けが**
などの人身事故が生じます。

次のことを守って、本機を設 置する

テレビが落下して、重大な人体傷害または死亡の要因になるおそれがあります。多くの傷害、特に子どもに対するものは、次のような簡単な予防措置をとることによって、避けることができます。

- 常に、ソニーが推奨したキャビネット、またはスタンド、または取付手段を使用する。
- テレビを安全に支持することができる家具だけを必ず使用する。
- 支持している家具の端から、テレビが突き出ないことを確実にする。
- テレビまたはその制御部に到達するために家具によじ登ることの危険性を子どもに必ず教育する。
- テレビに接続するコードやケーブルを引掛けてつまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように必ず配置する。
- 決して、不安定な場所にテレビを置かない。
- 家具およびテレビの両方を適切な支持体にしっかりと固定することなく、背の高い家具（例えば、食器棚や書棚）の上に機器を決して置かない。
- テレビと支持している家具との間に、布または他の材料を置いてテレビを決して置かない。
- テレビの上やテレビの置かれている家具の上に、子どもがよじ登りたくなるようなもの（玩具やリモコンなど）を決して置かない。

既存のテレビを使い続けるまたは再配置する場合にも、上記と同じ事項を適用することを推奨します。

転倒防止の処置を必ず行う

転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などと本機の間、適切な転倒防止の処置を行ってください。（転倒防止の処置については40ページをご覧ください。）



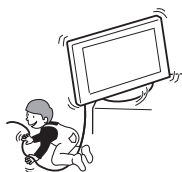
人が通行するような場所に置かない

コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかかると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続・配置してください。



乳幼児がコードを引っ張る恐れのない場所に電源コードや信号ケーブルを配置してください。



不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。テレビが落下し、大けがまたは死亡の原因となる可能性があります。



本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。



テレビ以外の荷重を掛けない
落下によるけがや破損の原因となることがあります。



壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない

- 専門業者以外の人に取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともテレビの質量の4倍に耐えられる強度が必要です。（テレビの質量は、42ページをご覧ください。）
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。

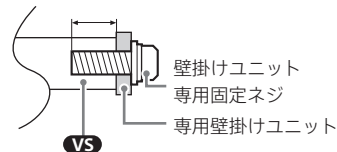


次のことを守って、壁掛けユ ニットに本機を設置する

誤った取り付け方で設置すると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

- 壁掛けユニットの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 壁掛けユニットの取り付けに際しては、壁掛けユニットに同梱されている専用固定ネジを使う。専用固定ネジは、取付金具の取り付け面からの長さが図のように設定されています（壁掛けユニットによってネジの長さは異なります）。専用固定ネジ以外のネジを使用すると、落下や本機内部の破損の原因となります。

10 mm ~ 12 mm



本機を医療機関に設置しない
医療機器の誤動作の原因となることがあります。



医療機器に近づけない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

子どもや監督を必要とする方などの手の届くところに置かない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しています。磁石を飲み込むと、窒息の危険性や腸などを傷つけ深刻な症状を引き起こす恐れがあります。磁石を飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



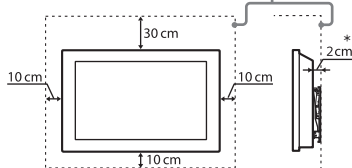
下記の注意を守らないと
火災・感電などにより
死亡や大けがの原因となります。

周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けずに設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

壁に取り付けるとき

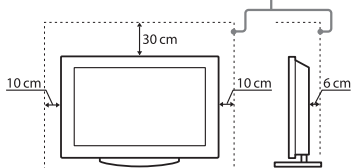
これ以上の間隔を空ける。



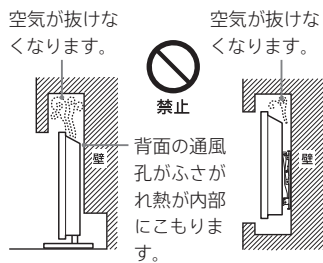
* KJ-65/55X80Jは1cm。

スタンドを使用するとき

これ以上の間隔を空ける。



下図のような設置はおやめください。



禁止

禁止

禁止

禁止

禁止

禁止

禁止

禁止

禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

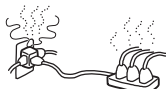
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。
- 壁や家具に密着して置かない。また毛足の長いじゅうたんや布団などの上に置かない。
- 本機の下に物を置かない。



電源(コード、プラグ)

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V(50/60Hz)以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでみてもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。



禁止



電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差してください。

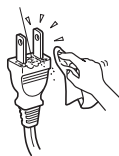
電源コードを抜くときは必ず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグを持って抜いてください。

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

汚れ



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



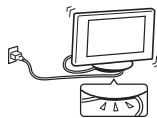
プラグをコンセントから抜く

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーご相談窓口へ交換をご依頼ください。



禁止



ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



使用

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

液晶画面や本機の背面など機器全体に直接水や洗剤をかけない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。



禁止



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。



分解禁止



電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



雷が鳴りだしたら、アンテナケーブルや電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止



リモコン及び電池の取り扱いについて

- 直射日光が当たるところ、火や暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。
- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かず本機に触れると、感電の原因となることがあります。



接触禁止

目や口に液晶を入れない／ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをすることがあります。

また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



接触禁止

移動、設置

正しい方法で運搬／移動する

- 誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。本機を持ち運ぶ際には、取扱説明書をご参照の上、正しい方法で行ってください。
- 本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

人がぶつかりやすい場所に置かない

水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより本機が故障したりします。



風呂・シャワー室での使用禁止



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

湿気、ほこりの多いところ、油煙や湿気が当たるようなところ(調理台や加湿器のそば)におかないでください。火災・感電・変形などの原因となることがあります。



禁止

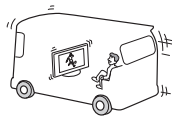


乗物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。



禁止



可動式の台に設置しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。



禁止



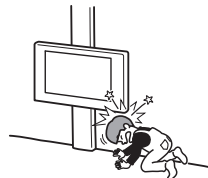
壁掛け設置

テレビがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのテレビがはみ出してしまふような場所には取り付けしないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。



禁止



テレビを取り付けたあとはネジなどをはずさない

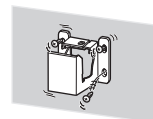
テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ(必要本数以上)で、しっかりと固定してください。



取扱説明書の説明に従って、付属のネジと取り付け金具を使う

付属品を使わずに代替品を使用して取り付けると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因になります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける

垂直ではなかったり、平らではない壁面に取付けると、テレビが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

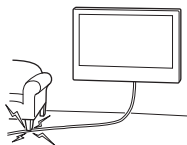
ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、テレビを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。



禁止



壁の材質や構造に適したネジを使う

壁掛けユニットを壁面に固定するネジを付属していません。壁の材質や構造に適したネジをご準備ください。

本機を床に垂直に設置し固定する

本機を傾けた状態で設置すると、テレビが落下して、けがや破損の原因となります。



注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない

付属品の小さな部品を飲み込みおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。



禁止

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。



プラグをコンセントから抜く

液晶画面の表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。



禁止



液晶画面の外周に衝撃を与えない

ガラスの縁にヒビが入ったり、飛び散ったガラスにより、ケガの原因となります。



音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を十分にし、生活環境を守りましょう。ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、テレビの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。テレビの落下によるけがや破損の原因となります。

リモコンによる遠隔操作について

無線リモコン、またはVideo & TV SideViewなどのアプリを搭載したスマートフォン/タブレットのリモコン機能による遠隔操作は、本機が見える位置からのみ行ってください。

同軸ケーブルの接続について

主電源接続、または他の機器を通じて建物の設備の保護接地に接続し、かつ、同軸ケーブルを使ってテレビ信号分配システムに接続する機器は、ある種の条件下では火災の原因となる可能性があります。従って、テレビ信号分配システムへの接続は、ある程度の周波数範囲以下で電気絶縁する機器(ガルバニック絶縁器についてはEN60728-11を参照)を備えなければなりません。

オプション機器について

本機は3メートル未満の信号ケーブルを使用した場合にEMC規格の制限に準拠していることがテストにより確認されています。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

危険

- 電池を直射日光、火のそばなどの高温になる場所や、極端に低い気圧になる場所に置かないでください。
爆発、液漏れ、ガス漏れする可能性があります。

警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- +-の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 指定された種類の電池以外使用しない。誤った型式の電池を使用すると、爆発する可能性があります。

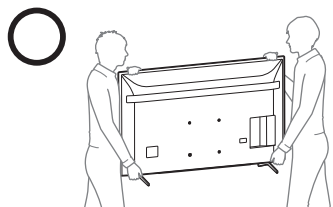
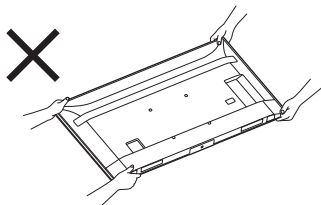
注意

- 指定された種類の電池を使用する。
 - 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

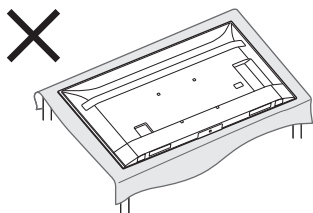
使用上のご注意／お手入れ

運搬／設置について

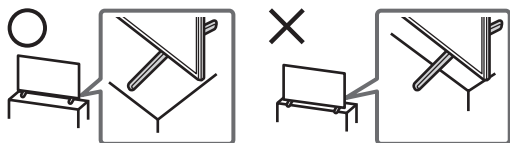
- 大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。テレビの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。



- 運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大げがの原因となります。特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
- スタンドや壁掛けユニットの取り付け作業時に、テレビ画面を下に向けて置かないでください(KJ-65/55X80Jのみ)。



- 修理や引越などで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときや、湿気の多い場所や暖房を入れたばかりの部屋などでは、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは、本機の電源を切り、結露がなくなるまで放置してからご使用ください。
- テレビ台からはみ出さないように設置してください。スタンド設置時には、お子さまが近づかないようにご注意ください。



- 壁掛けユニットにテレビを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、テレビの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、外した場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 壁に取り付ける場合、機械的振動の多い場所には設置しないでください。

液晶画面について

- 画面を太陽に向けたままにしないでください。画面を傷める原因になります。
- 液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所で使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。
- 長時間使用したあとに液晶画面の外周を触ると、熱く感じる場合があります。
- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(減点)が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

LAN端子に接続する機器について

- 電気通信事業法に基づく認定品に接続してください。
- 本機をネットワークにつなぐ際は、セキュリティ強化のため、ルーターもしくはルーター機能を有したLANポートへつないでください。セキュリティの問題が発生すると、テレビがインターネットを通じてマルウェア(悪意のあるソフトウェア)などによる被害を受け、お客様の情報やコンテンツが抜き取り・改ざんされてしまうことがあります。また、お使いの機器が意図せずに各種ネットワークサービスに損害を与える可能性があります。

無線の周波数について

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のソニーご相談窓口にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など(たとえばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のソニーご相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

2.4FH1/XX4

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。
変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解/改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

メモリーに保存されるデータについて

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマークなどが、また、ご使用にあたって番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
データを消去するにはクイック設定ボタンを押して、**設定**—[システム]—[デバイス情報]—[リセット]—[出荷状態に戻す]—[すべて消去]を選びます。
ネットワークサービスをご利用の場合はログアウト処理も行ってください。
消去によりアカウントやパスワードなどが消えてしまうサービスもあります。
消去前に記録しておいてください。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

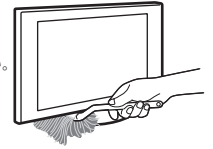
廃棄について

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お手入れ

誤ったお手入れをした場合、テレビを傷つけたり、故障の原因にもなりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、次のことを必ずお守りください。

- 本機に直接水や洗剤をかけないでください。吹きかけた水や洗剤が画面下部や外装部にたれて本機が故障する場合があります。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤などに布を浸して固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください。
- テレビの下は柄つきのモップなどを使用してください。
狭いので手を入れて掃除しないでください。



- 軽い汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。
- 市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどは、販売元に確認してから使用してください。
- 印刷面は乾いた柔らかい布で丁寧にふいてください。爪などでひかくと、印刷面が傷つくことがあります。
- 液晶の画面は特殊加工がされているので、なるべく画面に触れないようにしてください。

以下のことは行わない

- 殺虫剤やシンナー、ベンジンのような揮発性のもの、クレンザーのような研磨剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ふき取るときの圧力で、液晶配列が崩れて、汚れのように見えることがあります。これは、電源を入れ直すと元に戻ります。
- 画面の汚れをふき取るときは、スピーカー部を持ったり、画面に圧力をかけたりしないでください。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 市販の液晶パネル用保護フィルターなどは使わないでください。
- ハンドクリーム、日焼け止めクリームなどが手に付いた状態で本機に触らないでください。変色、変形の原因になります。



再設置／チャンネル設定 をやり直す

再設置するには


再設置のしかたは、組み立て／設置ガイド(別紙)をご覧ください。

組み立て／設置ガイドはWebサイトからダウンロードすることもできます。

スタンドの外しかたは、壁掛けユニット取付方法(説明書)を参照してください。

チャンネル設定をやり直すには

引っ越ししたり、新しく開始された放送を受信したいときは、チャンネル設定をやり直してください。

- 1 クイック設定ボタンを押して、 (設定)－[放送と外部入力]－[放送受信設定]を選び、お使いの地域を設定する。
- 2 [地上：自動チャンネル設定]を選んでチャンネルスキャンする。

テレビを壁に取り付けて 使う

テレビの機種によって、お使いいただける別売の壁掛けユニットの型名が異なります。「主な仕様」(41ページ)をご覧ください。お持ちのテレビに対応している壁掛けユニットをお使いください。

壁に取り付ける場合は、必ず指定の壁掛けユニットを使用し、専門業者に取り付けを依頼してください。

また、取り付け時には設置関係者以外近づかないでください。

専門業者以外の方が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下したりして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

壁掛けユニットを取り付けるには、テレビに取り付けたスタンドを外し、壁の取り付け位置の確認をしたり、テレビに必要な部品を取り付ける必要があります。

取り付けかたについては、壁掛けユニットに付属の取扱説明書およびガイドと、Webサイトから「壁掛けユニット取付方法」(PDF)をダウンロードしてご確認ください。

取扱説明書や組み立て／設置ガイド、壁掛けユニット取付方法、寸法図などのダウンロードはこちらをご覧ください。

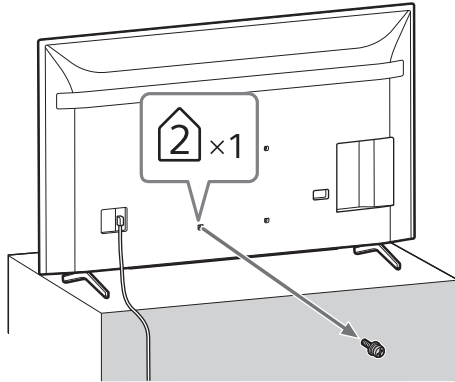
ブラビア サポートページ

<https://www.sony.jp/support/tv/>

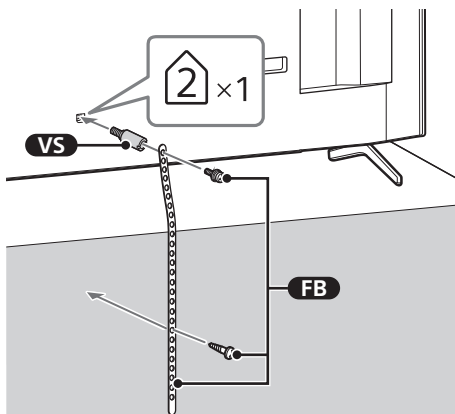


転倒防止用ベルトを取り付ける

1 テレビ背面のネジを外す。



2 転倒防止用ベルトを取り付ける。



ヒント

- 転倒防止用ベルトは左右どちらのネジ穴にも取り付けられます。
- 付属の木ネジが使えない場合や、強度が不十分な場合は、お買い上げ店や工事店にご相談のうえ、市販のネジ(直径4 mm)をお使いください。

主な仕様

システム

受信方式

地上放送方式、BS放送方式、110度CS放送方式
BS4K放送方式、110度CS4K放送方式

受信チャンネル

地上放送

VHF:1～12、UHF:13～62、
CATV:C13～C63

CATVはケーブルテレビ放送会社との
受信契約が必要

BS/110度CS放送

1032 MHz～2071 MHz

BS4K/110度CS4K放送

1032 MHz～3224 MHz

パネルシステム

LCDパネル、LEDバックライト

使用スピーカー

フルレンジ 35×85 mm (2)

音声出力(実用最大出力)

10 W+10 W

無線技術

プロトコル IEEE802.11ac/a/b/g/n
Bluetooth® Version 4.2

入出力端子

アンテナ端子

地上 75Ω F型コネクタ

BS/110度CS IF 75Ω F型コネクタ

(コンバーター用電源出力、DC15 V、最大
4 W、芯線側+、メニューにてオート/
入/切を切り換え)

ビデオ入力端子

映像・音声：4極ミニジャック

HDMI 1～4入力端子(4K対応、HDCP 2.3対応)

映像：480p、720p (30、60 Hz)、
720/24p、1080i (60 Hz)、1080p (30、
60 Hz)、1080/24p、3840×2160p
(60 Hz) *1、3840×2160p (24、30 Hz)、
4096×2160p (60 Hz) *1*2、4096×
2160p (24 Hz) *2、PCフォーマット*3

*1 より高精彩なHDMIフォーマット(4K
60p 4:4:4、4:2:2、または4K 60p 4:2:0
10ビットなど)での映像を表示するに
は、画面に表示される説明に従って
[HDMI信号フォーマット]を設定して
ください(19 ページ)。

*2 4096×2160p入力で[ワイド切換]が
[ノーマル]に設定されている場合は、
3840×2160pで表示されます。
4096×2160pで表示するには、[ワイド
切換]を[フル1]または[フル2]に設定
してください。

*3 詳しくはオンライン版のヘルプガイド
をご覧ください。

音声：

eARC (Enhanced Audio Return
Channel) モードのとき

詳しくはオンライン版のヘルプガイド
をご覧ください。

eARCモード以外のとき

5.1チャンネル リニアPCM
32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
16/20/24ビット、ドルビーオーディオ、
ドルビーアトモス、DTS、MPEG2
AAC (デジタル放送)、MPEG4 AAC (デ
ジタル放送)

Enhanced Audio Return Channel
(eARC) /Audio Return Channel (ARC)
対応(HDMI 3入力のみ)：

eARCモードのとき

詳しくはオンライン版のヘルプガイド
をご覧ください。

ARCモードのとき

2チャンネル リニアPCM (48 kHz 16
ビット)、ドルビーオーディオ、ドルビー
アトモス、DTS*4、MPEG2 AAC*4、
MPEG4 AAC*4

ヘッドホン端子

3極ステレオミニジャック

光デジタル音声出力端子

角型端子、2チャンネル リニアPCM (48
kHz 16ビット)、ドルビーオーディオ、
DTS*4、MPEG2 AAC*4

HDMI 4音声入力端子

アナログ音声入力(ステレオミニジャック)

*4 対応するオーディオシステムを本機につ
なぎ、[パススルーモード]を[オート]、[ス
ピーカー出力]を[オーディオシステム]に
設定してください。詳しくはオンライン
版のヘルプガイドをご覧ください。

LAN (10/100)端子

10BASE-T/100BASE-TXコネクタ (ネッ
トワークの使用環境により、接続速度に差
が生じることがあります。本機は
10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通
信品質を保証するものではありません。)

USB端子

- ←USB 1 (USB 2.0対応)
- ←USB 2 録画用HDD接続端子(USB 3.1
Gen 1対応)

コントロール端子

RS-232C、ミニジャック(サービス用の端
子です。通常は使用しません。)

電源部、その他

動作温度

0℃～40℃

動作湿度

20%～80% (結露なきこと)

消費電力

KJ-65X80J：241 W

KJ-55X80J：207 W

KJ-50X80J：157 W

KJ-43X80J：118 W

消費電力(リモコン待機時)

0.5 W (データ取得時、ネットワーク接続
時を除く)

年間消費電力量(スタンダード時) (2012年度基準)

KJ-65X80J：216 kWh/年

KJ-50X80J：148 kWh/年

KJ-43X80J：105 kWh/年

区分名(2012年度基準)

DF1 (FHD、液晶ノーマル、付加機能1)

年間消費電力量(2026年度基準)

KJ-55X80J：212 kWh/年

区分名(2026年度基準)

KJ-55X80J：c

受信機型サイズ

KJ-65X80J：65V

KJ-55X80J：55V

KJ-50X80J：50V

KJ-43X80J：43V

パネル解像度

3840×2160 (画素：水平×垂直)

有効画面サイズ*5 (幅・高さ・対角)

KJ-65X80J：142.8・80.4・163.9 cm

KJ-55X80J：121.0・68.0・138.8 cm

KJ-50X80J：109.6・61.6・125.7 cm

KJ-43X80J：94.1・52.9・108.0 cm

視野角(左右/上下)

178/178度(JEITA規格準拠コントラスト比
10:1)

最大外形寸法*

(最大突起部分を除く)(幅×高さ×奥行
き)

- KJ-65X80J : 146.2×84.2×7.1 cm、
146.2×91.2×33.8 cm (スタンド含む)
- KJ-55X80J : 124.3×71.9×7.1 cm、
124.3×78.7×33.8 cm (スタンド含む)
- KJ-50X80J : 112.6×65.3×7.0 cm、
112.6×71.8×28.6 cm (スタンド含む)
- KJ-43X80J : 97.2×56.7×7.0 cm、
97.2×63.2×28.6 cm (スタンド含む)

質量*

- KJ-65X80J : 21.6 kg、22.5 kg (スタンド
含む)
- KJ-55X80J : 15.7 kg、16.6 kg (スタンド
含む)
- KJ-50X80J : 12.3 kg、12.9 kg (スタンド
含む)
- KJ-43X80J : 10 kg、10.5 kg (スタンド含
む)

電源

AC 100 V、50/60 Hz

定格出力

- USB 1
DC5 V、500 mA MAX
- USB 2
DC5 V、900 mA MAX

*5 有効画面サイズおよび最大外形寸法と質
量は、おおよその値です。

別売アクセサリ

壁掛けユニット :

- SU-WL850 (KJ-65/55X80Jのみ)
- SU-WL450

- 受信機型サイズ(65V、55V、50V、43V)は、
有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目
安です。
- このテレビは日本国内用です。電源電圧、放
送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更す
ることがありますが、ご了承ください。
- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電
磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限
度値(1相当りの入力電流が20 A以下の機
器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目
標レベルに適合して設計・製造した製品です。

区分名と年間消費電力量に ついて(2012年度基準)

- 区分名
「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省
エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表
示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基
づいた区分を行なっています。その区分名称を
言います。
- 年間消費電力量
省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均
視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、1年間
に使用する電力量です。

区分名と年間消費電力量に ついて(2026年度基準)

- 区分名
省エネ法において、画素数およびパネルの種
類に基づき規定されている名称のことです。
- 年間消費電力量
省エネ法に基づいて、一般家庭での1日の平均
視聴時間(5.1時間)を基準に算出した、1年間
に使用する電力量です。

商標、ライセンス

- Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby
Atmos、Dolby Audio及びダブルD記号はド
ルビーラボラトリーズライセンスリングコーポ
レーションの商標です。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づ
き製造されています。
非公開機密著作物。著作権 1992-2020 年ド
ルビーラボラトリーズ。不許複製。
- HDMI、High-Definition Multimedia
Interface、およびHDMIロゴは、米国およびそ
の他の国におけるHDMI Licensing
Administrator, Inc. の商標または、登録商標で
す。
- Gracenote、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、
"Powered by Gracenote"ロゴは、米国およ
び/またはその他の国におけるGracenote、
Inc. の登録商標または商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from
DTS, Inc.
DTS, Digital Surround, and the DTS logo
are registered trademarks or trademarks
of DTS, Inc. in the United States and other
countries. © 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS
RESERVED.
- TUXERA is a registered trademark of
Tuxera Inc. in the US and other countries.
- Google TV その他関連のマークは、Google
LLCの商標です。
- Huluは、Hulu, LLCの登録商標です。
- U-NEXTは、株式会社U-NEXTの登録商標です。
- ABEMA及びABEMAロゴは株式会社
AbemaTVの登録商標です。
- Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。
- TSUTAYAは、カルチュア・コンビニエンス・
クラブ株式会社の登録商標です。
TSUTAYA TVは、カルチュア・コンビニエンス・
クラブ株式会社の登録商標です。
- その他の商標はすべて、個々の所有者に帰属
します。

Dolby
VISION·ATMOS

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

gracenote
A NIELSEN COMPANY

dts®

TUXERA

索引

別紙と記載されている用語については、組み立て／設置ガイド(別紙)をご覧ください。

あ行

アフターサービス	29
アプリ	15
アンテナケーブル	別紙
アンテナレベル	14
アンテナをつなぐ	別紙
インターネット	22
運搬	37
映像・音声ケーブル	19、20
音声切換	10
音声検索	23

か行

壁掛けユニット	39
画面表示	9
画面表示切換	9
クイック設定	10
ケーブルテレビ	29

さ行

再設置	39
サウンドパーシステム	18
字幕	10
字幕切換	10
初期設定	39
スター・チャンネル	29
スマートフォン	18
ソフトウェアの更新	25

た行

地上	9
チャンネル設定	39
デモモード	27
電池	別紙
転倒防止用ベルト	40、別紙
問い合わせ先	29、裏表紙
時計表示	9

な行

入力切換	10
ネット動画	12
ネットワーク	22

は行

ハードディスク	16
番組表	9
光デジタル接続ケーブル	18
ビデオ入力	19
ブラビアリンク	20
分波器	別紙
ヘッドホン	7
ヘルプ	10
ヘルプガイド	4
ホーム	10
ホームメニュー	10、15
保証書	29

ま行

マイク	9
無線LANルーター	22、28
無線接続	22
モデム	22

や行

有線接続	22
------	----

ら行

リモコン	9、28、33、別紙
リモコン受光部	5
ルーター	22、別紙
録画	17
録画リスト	17

アルファベット

ACAS (B-CAS)	29
ACAS番号(モジュールID)	29
ARC	8
BDレコーダー	19
Bluetooth®	18
BS	9
BS4K	9
CS	9
CS4K	9
HDMIケーブル	18、19
HDR	19
LANケーブル	8、22
LED	5、25、26
NHK	29
SSID	22
Wi-Fi	22
WOWOW	29



ヘルプガイド(電子取説)では、この取扱説明書より詳しく、使いかたを説明しています(4ページ)。

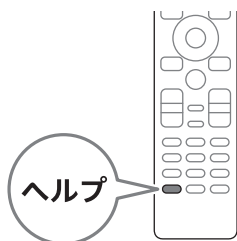


お電話でのお問い合わせの前に

電源ボタンを長押ししてテレビを再起動すると、問題が解決する場合があります。詳しくは、本書の「故障かな? と思ったら」(24 ページ)をご覧くださいのうえ、解決方法をご確認ください。



トラブルの解決や最新のサポート情報、電子取説(ヘルプガイド)をご確認いただけます。



愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を!

こんな症状はありませんか

- 電源コードやプラグが異常な熱を持っていませんか
- 異常な熱や煙が発生したり変な臭いや音(パチパチ)がしませんか
- 電源を入れても画像や音が出ないことはありませんか
- 故障状態のまま使用していませんか



すぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のために、お買い上げ店、またはソニーご相談窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル..... **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話... **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル..... **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話... **050-3754-9599**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) **0120-333-389**

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「200」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1